

就労継続支援A型事業所におけるスコア表（全体）

事業所名	self-A・アドバンフォース勝田
住 所	茨城県ひたちなか市東大島1-24-29 正和ビル3階
電話番号	029-229-1133

事業所番号	0812100600
管理者名	大江由美子
対象年度	令和2年度

(I) 労働時間		点
①1日の平均労働時間が7時間以上		
②1日の平均労働時間が6時間以上7時間未満		
③1日の平均労働時間が5時間以上6時間未満		
④1日の平均労働時間が4時間30分以上5時間未満		
⑤1日の平均労働時間が4時間以上4時間30分未満	○	
⑥1日の平均労働時間が3時間以上4時間未満		
⑦1日の平均労働時間が2時間以上3時間未満		
⑧1日の平均労働時間が2時間未満		
①80点 ②70点 ③55点 ④45点 ⑤40点 ⑥30点 ⑦20点 ⑧5点		

(II) 生産活動		点
①前々年度及び前年度において生産活動収支が利用者に支払う賞金の総額以上		
②前年度において生産活動収支が利用者に支払う賞金の総額以上		
③前年度において生産活動収支が利用者に支払う賞金の総額未満		
④前々年度及び前年度において生産活動収支が利用者に支払う賞金の総額未満	○	
①40点 ②25点 ③20点 ④5点		

(III) 多様な働き方 (※)		点
◎ ①免許・資格取得、検定の受検奨励に関する制度		
就業規則等で定めている	○	
就業規則等で定めており、前年度の実績がある		
◎ ②利用者を職員として登用する制度		
就業規則等で定めている	○	
就業規則等で定めており、前年度の実績がある		
◎ ③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律		
就業規則等で定めている	○	
就業規則等で定めており、前年度の実績がある		
④フレックスタイム制に係る労働条件		
就業規則等で定めている		
就業規則等で定めており、前年度の実績がある		
⑤短時間勤務に係る労働条件		
就業規則等で定めている		
就業規則等で定めており、前年度の実績がある		
⑥時差出勤制度に係る労働条件		
就業規則等で定めている		
就業規則等で定めており、前年度の実績がある		
◎ ⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度		
就業規則等で定めている		
就業規則等で定めており、前年度の実績がある	○	
◎ ⑧傷病休暇等の取得に関する事項		
就業規則等で定めている	○	
就業規則等で定めており、前年度の実績がある		
小計 (注1)	6	
①8以上:35点、6~7:25点、1~5:15点		

(IV) 支援力向上 (※)		点
◎ ①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会		
参加した職員が1人以上であった		
参加した職員が半数以上であった	○	
◎ ②研修、学会等又は学会誌等において発表		○
1回の場合		
2回以上の場合	○	
◎ ③視察・実習の実施又は受け入れ		○
どちらか一方のみの取組を行っている		
いずれの取組もを行っている	○	
◎ ④販路拡大の商談会等への参加		○
1回の場合		
2回以上の場合	○	
◎ ⑤職員の人事評価制度		35
人事評価結果に基づき定期昇給を判定する制度を設け、全ての職員に周知している		
◎ ⑥ピアサポーターの配置		○
ピアサポーターを職員として配置している		
◎ ⑦第三者評価		8
過去3年以内の福祉サービス第三者評価を受審しており、結果を公表している。		
◎ ⑧ISOが制定したマネジメント規格等の認証等		8
都道府県知事が適当と認めるISOが定めた規格その他これに準ずるもの認証を受けている		
小計 (注2)	8	

(※) 任意の5項目を選択すること (注2) 8以上:35点、6~7:25点、1~5:15点

(V) 地域連携活動		点
地域の事業者と連携した付加価値の高い商品開発、企業や官公庁等での生産活動等地域社会と連携した活動を行い、その結果をインターネット等により公表している	○	
1事例以上ある場合:10点		

項目	点数								
労働時間	5点	20点	30点	40点	45点	55点	70点	80点	40
生産活動	5点		20点	25点	40点				5
多様な働き方	0点		15点	25点	35点				25
支援力向上	0点		15点	25点	35点				35
地域連携活動	0点			10点					10

合計	
115	点 / 200点

(※) 任意の5項目を選択すること (注1) 8以上:35点、6~7:25点、1~5:15点

就労継続支援A型事業所におけるスコア表（実績Ⅰ～Ⅳ）

(Ⅰ) 労働時間					
前年度（令和2年度）					
雇用契約を締結していた全ての利用者における延べ労働時間	25,050	時間	雇用契約を締結していた延べ利用者数	6,227	人
			利用者の1日の平均労働時間数	4.02	時間
(Ⅱ) 生産活動					
前々年度（令和元年度）					
生産活動収入から経費を除いた額	7,330,762	円	利用者に支払った資金総額	22,270,331	円
			収支	▲ 14,939,569	円
前年度（令和2年度）					
生産活動収入から経費を除いた額	8,622,035	円	利用者に支払った資金総額	22,801,043	円
			収支	▲ 14,179,008	円
(Ⅲ) 多様な働き方					
前年度（令和2年度）における実績（全体表「(Ⅲ) 多様な働き方」の各項目において「就業規則等で定めており、前年度の実績がある」と選択した場合に実績を記載）					
⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度					
◎計画的付与制度を活用した人数 1名					
取得した期間：8月13日					
取得日数：1日					
(※)当該制度等を活用した任意の1名の実績を記載					
(Ⅳ) 支援力向上					
前年度（令和2年度）における実績（全体表「(Ⅳ) 支援力向上」の各項目の取組ありとした場合に実績を記載）					
①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会					
◎研修計画を策定している <input checked="" type="checkbox"/>					
◎研修実施回数 外部 1回/内部 2回					
対象職員数 9人					
うち研修受講者数 8人					
※研修名 茨城県障害者虐待防止・権利擁護研修					
研修講師 会澤龍司、高橋浩成、反野基寿美、反野優子、橋本健					
実施日・受講者数 11月 24日 1人					
※研修名 現状における事業所状況の把握と整理					
研修講師 self-A株式会社 神田・福島					
実施日・受講者数 12月 19日 6人					
※研修名 事業運営サポートセミナー・就労支援概論					
研修講師 self-A株式会社 神田 博之					
実施日・受講者数 2月 19日 6人					
②研修、学会等又は学会誌等において発表					
◎研修、学会等又は学会誌等において発表している回数 2回					
※研修、学会等名 障害者雇用における定着セミナー					
実施日 3月 11日					
※研修、学会等名 就労就労支援連携 事例発表会					
実施日 3月 26日					
③視察・実習の実施又は受け入れ					
◎先進的事業者の視察・実習の実施している <input checked="" type="checkbox"/>					
◎他の事業所の視察・実習を受け入れている <input checked="" type="checkbox"/>					
※先進的事業者名 (株) アタストリア・ゼネラルサポート					
実施日/参加者数 3月 24日 1人					
※他の事業所名 株式会社 マルタマフーズ					
実施日/参加者数 3月 3日 1人					
④販路拡大の商談会等への参加					
◎販路拡大の商談会等への参加回数 4回					
※商談会等名 有限会社 安物産					
主催者名 西野様					
日時 9月 18日 18時～					
内容 印刷デザインに関する業務委託の問い合わせ					
※商談会等名 よろず支援拠点					
主催者名 海老澤					
日時 1月 18日 13時～					
内容 農産物の6次産業化の相談					
(※)実績のうち1事例を記載					

就労継続支援 A 型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	self-A・アドバンフォース勝田
住 所	茨城県ひたちなか市東大島1-24-29正和ビル3F
電話番号	0292-29-1133

事業所番号	0812100600
管理者名	大江 由美子
対象年度	2020年度

地域連携活動の概要

<p><活動内容></p> <p>活動場所：ひたちなか市新堤10850 実施日程：月曜日～土曜日 実施した生産活動：露地野菜の栽培 利用者等人数：8～12名</p>	<p><活動の様子></p>   <p>野菜栽培の様子</p> <p>出荷前の野菜</p>
<p><目的></p> <p>作物の栽培だけでなく、高単価の商品を開発し収益の増加につなげていく。 地域の企業と連携することで、地元生産者として期待される役割を少しずつ担っていく。</p>	  <p>加工した商品(焼き芋：ペースト)</p>
<p><成果></p> <p>加工委託により、ペーストでの販売が可能になり単価の販売単価の向上につながった。また、貯蔵を委託できたことにより、納品先の利便性の向上につなげることができた。 芋の品質の確認もあわせて行ってくださっており、助言もいただいている。良い商品が出来れば、安物産での買い上げや販売も検討いただいております、業務の安定化につなげていきたい。</p>	

連携先の企業等の意見または評価

6次産業化に意欲的に取り組まれており、弊社としても協力できる部分は積極的に協力しております。
 良い商品を開発され、安定した収益を上げていただき、精力的に生産量を増加されることを期待しております。
 ひたちなかの甘藷は需要が高く、加工業者や販売業者としても生産量が増えることは歓迎するところです。
 弊社でも甘藷を商品として扱っており、高品質かつ安定的な仕入れ先の確保が重要となるところですが、甘藷の生産者農家も高齢化や代替わりが多く、課題の一つでもあります。
 弊社でお手伝いできる部分では喜んでお手伝いさせていただき、加工しきれない甘藷のは納品いただくなど、弊社としてもお力を貸していただき、双方良しの関係でこれからもお付き合いさせていただければと考えております。

連携先企業名	安物産	担当者名	西野 琢哉
--------	-----	------	-------